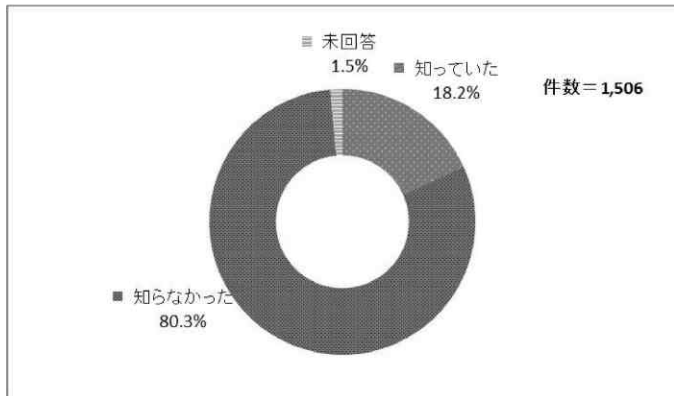


(2) 都市緑化推進事業の実施認知度

都市の緑を増やす取組を行っていることを「知らなかった」が80.3%

問V-2 あいち森と緑づくり事業を使って、都市の緑を増やす取組を行っていることを知っていましたか。(〇は1つ)



あいち森と緑づくり事業で都市の緑を増やす取組を行っていることを「知っていた」と回答した人の割合は18.2%である。一方で「知らなかった」と回答した人の割合は80.3%で高くなっている。

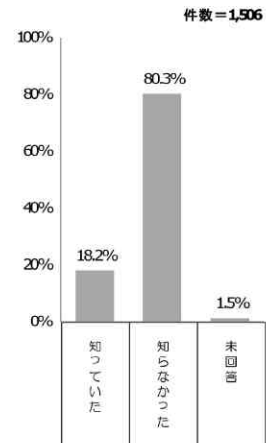
都市緑化推進事業の実施認知度(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、男性(18.5%)が高く、女性(17.1%)が低く、1.4ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、年齢層が上がるにつれ割合が増える傾向にあり、65歳以上(28.5%)が高く、20代(9.3%)が低く、19.2ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、名古屋地域(18.9%)が高く、東三河地域(13.7%)が低く、5.2ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、無職(23.1%)が高く、勤め人(13.0%)が低い。

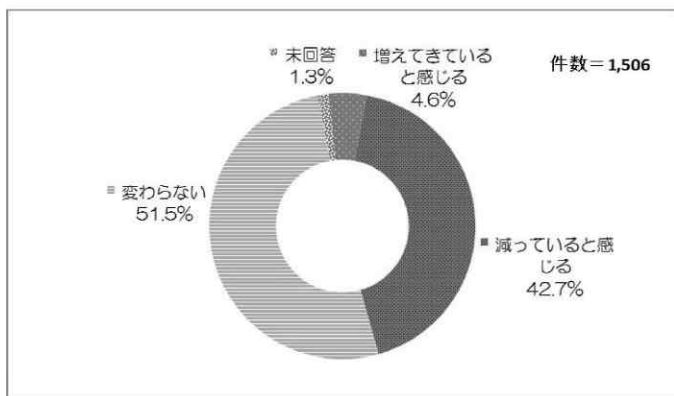


性別	男性	18.5%	80.5%	1.0%
女性	17.1%	81.4%	1.5%	
年齢別	20歳~29歳	9.3%	90.7%	0.0%
	30歳~39歳	7.7%	91.3%	1.0%
	40歳~49歳	12.1%	87.1%	0.8%
	50歳~59歳	14.2%	84.7%	1.0%
	60歳~64歳	22.2%	77.8%	0.0%
	65歳以上	28.5%	68.6%	2.9%
地域別	名古屋地域	18.9%	79.9%	1.2%
	尾張地域	18.5%	79.8%	1.7%
	西三河地域	17.4%	81.7%	1.0%
	東三河地域	13.7%	85.7%	0.6%
職業別	自営業	18.7%	79.1%	2.2%
	勤め人	13.0%	86.1%	0.9%
	無職	23.1%	75.4%	1.5%

(3) 住まい周辺の線について

住まい周辺の線について「変わらない」が51.5%

問V-3 あなたの住まいの周辺(半径1~2km程度)の線についてどのように感じますか。(〇は1つ)



住まいの周辺(半径1~2km程度)の線について「増えてきていると感じる」と答えた人の割合は4.6%であり、「変わらない」と答えた人の割合は51.5%である。一方で「減ってきていると感じる」と答えた人の割合は42.7%である。

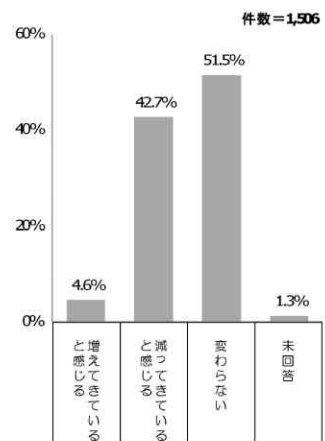
住まい周辺の線について(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「増えてきていると感じる」と答えた人の割合は、女性(5.4%)が高く、男性(3.8%)が低く、1.6ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「増えてきていると感じる」と答えた人の割合は、65歳以上(7.3%)が高く、20代(1.9%)が低く、5.4ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「増えてきていると感じる」と答えた人の割合は、西三河地域(6.1%)が高く、尾張地域(3.2%)が低い。

◆職業別で見ると、「増えてきていると感じる」と答えた人の割合は、自営業(7.1%)が高く、勤め人(2.8%)が低い。

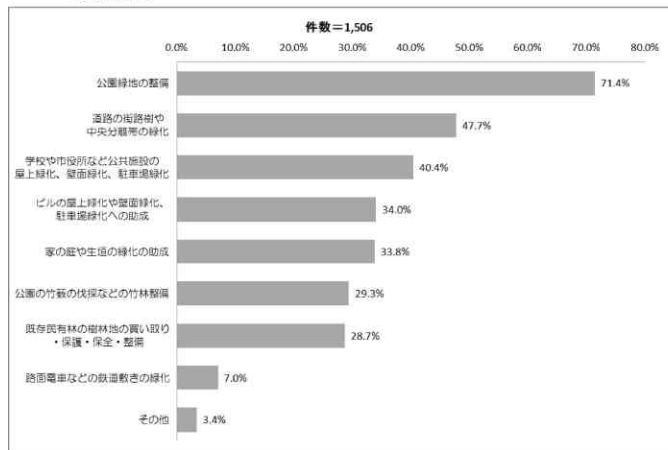


性別	男性	3.8%	42.2%	52.9%	1.2%
女性	5.4%	43.2%	50.4%	1.0%	
年齢別	20歳~29歳	1.9%	43.5%	54.6%	0.0%
	30歳~39歳	4.1%	40.0%	54.9%	1.0%
	40歳~49歳	4.3%	41.4%	53.5%	0.8%
	50歳~59歳	2.1%	46.9%	50.0%	1.0%
	60歳~64歳	5.2%	43.4%	51.4%	0.0%
	65歳以上	7.3%	41.6%	48.9%	2.2%
地域別	名古屋地域	5.7%	36.7%	56.6%	1.0%
	尾張地域	3.2%	48.7%	46.6%	1.5%
	西三河地域	6.1%	42.8%	50.5%	0.6%
	東三河地域	3.7%	35.4%	60.2%	0.6%
職業別	自営業	7.1%	41.2%	50.0%	1.6%
	勤め人	2.8%	43.7%	52.6%	0.9%
	無職	5.9%	41.7%	51.2%	1.2%

(4) 都市の緑を増やしていくための取組について

「公園緑地の整備」が71.4%

問V-4 今後、さらに都市の緑を増やしていくために、愛知県や市町村にどのような取組を望んでいますか。(複数回答可)

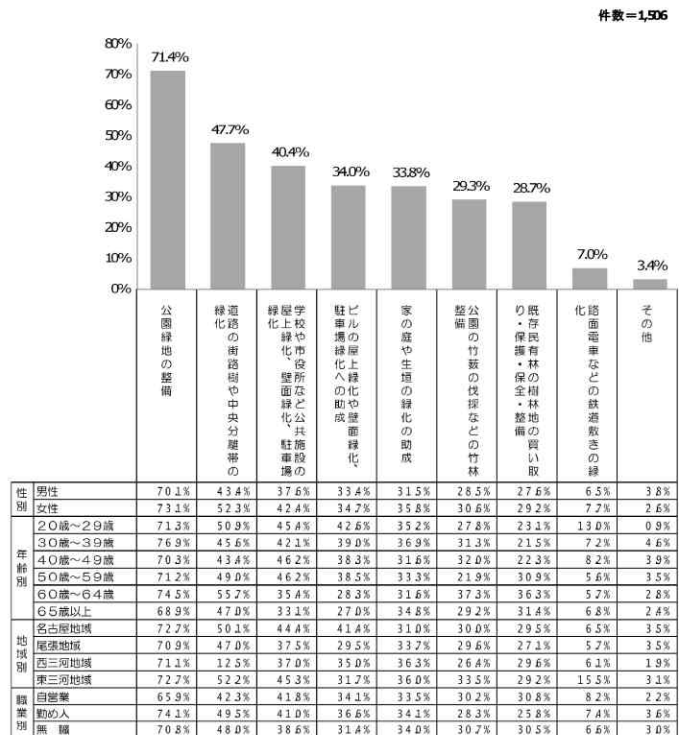


都市の緑を増やしていくために、どのような取組を望むかについて、「公園緑地の整備」と答えた人の割合が71.4%と最も高く、次いで「道路の街路樹や中央分離帯の緑化」が47.7%、「学校や市役所などの公共施設の屋上緑化、壁面緑化、駐車場緑化」が40.4%となっている。

「その他」具体的な方策としては、「現状の緑をどう活かすか考える」、「個人や事業者が緑化推進を自発的にする」、「優先順位を決め実施する」などがある。

都市の緑を増やしていくための取組について(性別、年齢別、地域別、職業別)

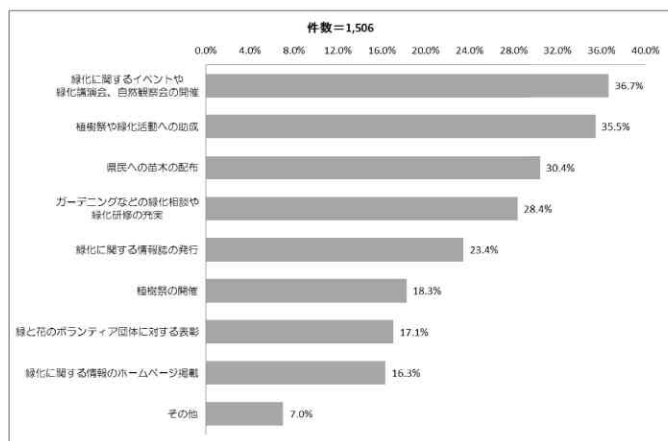
- ◆性別で見ると、回答の割合や順に大きな差は見られない。
- ◆年齢別で見ると、60代、65歳以上では、全体で4番目の「ビルの屋上緑化や壁面緑化、駐車場緑化への助成」と答えた人の割合が7番目になっている。
- ◆地域別で見ると、東三河地域では、全体で5番目の「家の庭や生垣の緑化の助成」と答えた人の割合が1番目に、全体で7番目の「既存民有林の樹林地の買い取り・保護・保全・整備」と答えた人の割合が2番目になっている。さらに全体で2番目の「道路の街路樹や中央分離帯の整備」と答えた人の割合が西三河地域では7番目、東三河地域では4番目になっているなど地域により違いがある。
- ◆職業別では、属性による回答の大きな差は見られない。



(5) 都市の緑に関心を持つための取組について

「緑地に関するイベントや緑化講演会、自然観察会の開催」が36.7%

問V-5 あなたが、今よりも都市の緑に関心や関わりをもてるようになるには、愛知県や市町村にどのような取組を望みますか。(複数回答可)

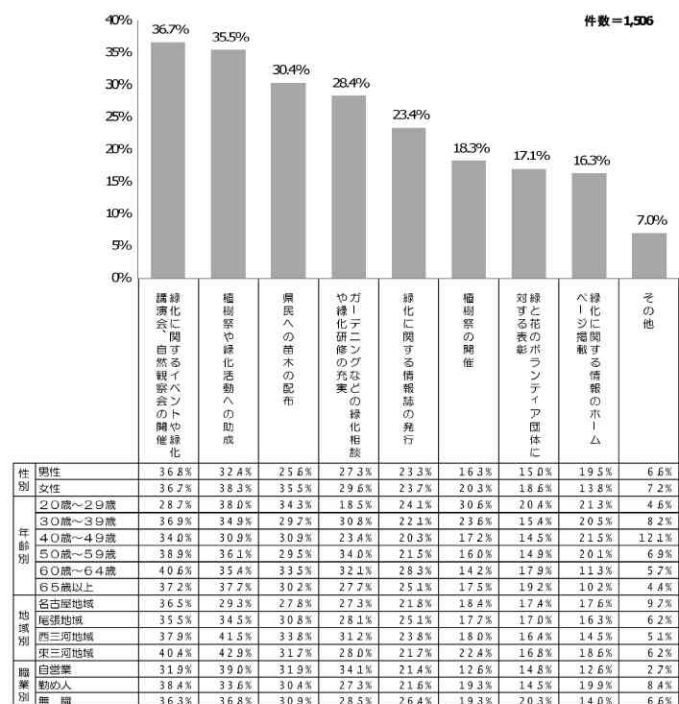


都市の緑に関心や関わりを持てるようになる取組として望むものは、「緑地に関するイベントや緑化講演会自然観察会の開催」が36.7%であり、次いで「植樹祭や緑化活動への助成」が35.5%、「県民への苗木の配布」が30.4%の順に高くなっている。

「その他」具体的な方策としては、「TVなどにより広告、宣伝活動」、「体験会などの実施」、「法人に緑の活動を義務付ける」などがある。

都市の緑に関心を持つための取組について(性別、年齢別、地域別、職業別)

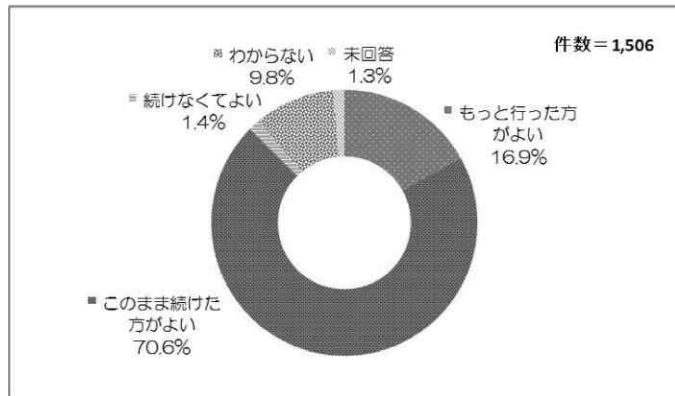
- ◆性別で見ると、全体で2番目の「植樹祭や緑化活動への助成」と答えた人の割合は、女性(38.3%)では1番目に高い。
- ◆年齢別で見ると、全体で4番目の「ガーデニングなどの緑化相談や緑化研修の充実」と答えた人の割合は、20代(18.5%)では8番目に、全体で8番目の「緑化に関する情報のホームページ掲載」と答えた人の割合は、40代(21.5%)では5番目に、50代(20.1%)では6番目に高い。
- ◆地域別で見ると、全体で2番目の「植樹祭や緑化活動への助成」と答えた人の割合は、東三河地域(42.9%)では1番目になっている。
- ◆職業別で見ると、全体で2番目の「植樹祭や緑化活動への助成」と答えた人の割合は、自営業(39.0%)では1番目になっている。



(6) 都市緑化推進事業の継続について

都市の緑を増やす取組を「このまま続けた方がよい」が70.6%

問V-6 あいち森と緑づくり事業で、今後も都市の緑を増やす取組を続けた方がよいと思いませんか。(〇は1つ)



あいち森と緑づくり事業で、都市の緑を増やす取組を「もっと行った方がよい」と答えた人の割合は16.9%であり、「このまま続けた方がよい」と答えた人の割合は70.6%である。一方で「続けなくてよい」と答えた人の割合は1.4%であり、「わからない」と答えた人の割合は9.8%である。

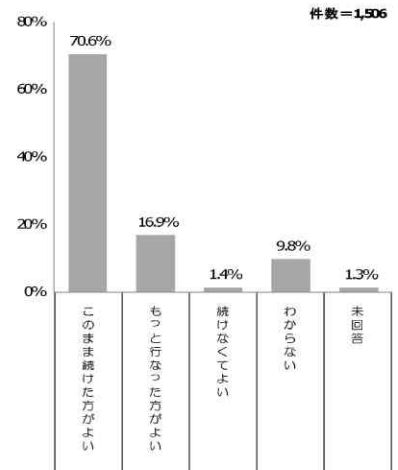
「続けなくてよい」の理由としては、「現状でよい」、「里山林道の整備以外は、税金のムダ使いと思う」、「特に事業というのではなく、自治体の当然の責務」などがある。

(7) その他、都市緑化推進に対する自由意見

「温暖化防止や環境のためには緑化は必要」、「緑をもっと増やしてほしい」、「事業のPRが必要」、「事業を継続してほしい」、「公園の緑地整備をしてほしい」などがある。

都市緑化推進事業の継続について(性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「このまま続けた方がよい」と答えた人の割合は、女性(73.2%)が高く、男性(67.8%)が低く、5.4ポイントの差がある。
- ◆年齢別で見ると、「このまま続けた方がよい」と答えた人の割合は、30代(73.3%)が高く、60代(67.9%)が低く、5.4ポイントの差がある。
- ◆地域別で見ると、「このまま続けた方がよい」と答えた人の割合は、東三河地域(77.0%)が高く、尾張地域(67.7%)が低く、9.3ポイントの差がある。
- ◆職業別で見ると、「このまま続けた方がよい」と答えた人の割合は、自営業(72.0%)が高く、勤め人(70.7%)が低い。



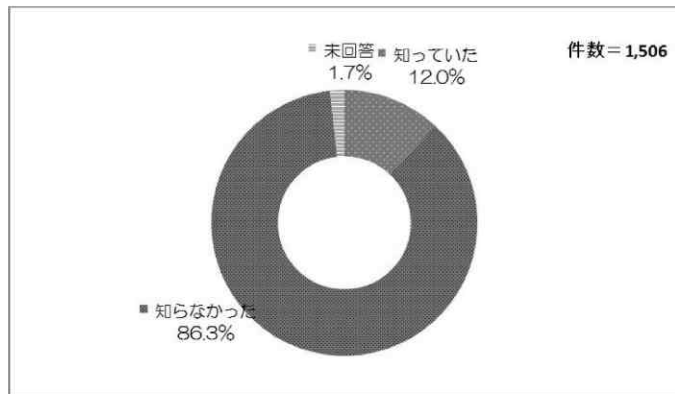
性別	男性	女性				
性別	67.8%	73.2%				
年齢別	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳~64歳	65歳以上
地域別	名古屋地域	尾張地域	西三河地域	東三河地域		
職業別	自営業	勤め人	無職			

VI 環境活動・学習事業について

(1) 環境活動・学習事業についての認知度

「自然環境保全活動」や「環境学習」を、あいち森と緑づくり事業で支援していることを「知らなかった」が86.3%

問VI-1 里地・里山などで間伐、下草刈り、植樹などを行う「自然環境保全活動」や、森林作業の体験教室や自然観察会といった「環境学習」を、あいち森と緑づくり事業で支援していることを知っていましたか。(〇は1つ)

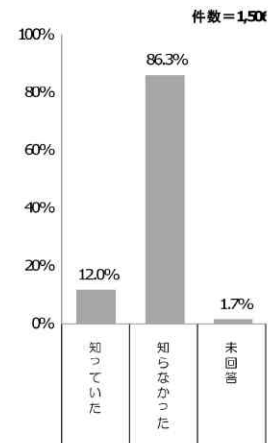


「自然環境保全活動」や「環境学習」を、あいち森と緑づくり事業で支援していることを「知っていた」答えた人の割合は12.0%と低く、「知らなかった」と答えた人の割合は86.3%と高くなっている。

※「環境活動・学習事業」とは、市町村やNPO、ボランティア団体等が行う自発的な森と緑の保全活動や環境学習を公募し、事業実施に必要な経費(資材の購入、外部講師の謝金など)を交付金で支援する事業。

環境活動・学習事業についての認知度(性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、女性(12.4%)が高く、男性(10.7%)が低く、1.7ポイントの差がある。
- ◆年齢別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、65歳以上(18.0%)が高く、40代(7.4%)が低く、10.6ポイントの差がある。
- ◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、西三河地域(12.9%)が高く、東三河地域(9.9%)が低く、3.0ポイントの差がある。
- ◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、無職(15.3%)が高く、勤め人(8.6%)が低い。



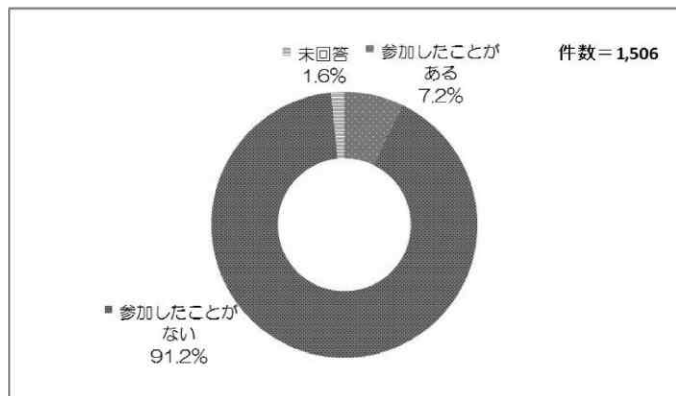
性別	男性	女性				
性別	10.7%	12.4%				
年齢別	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳~64歳	65歳以上
地域別	名古屋地域	尾張地域	西三河地域	東三河地域		
職業別	自営業	勤め人	無職			

(2) 「自然保護活動」や「環境学習」の参加の有無

「自然環境保全活動」や「環境学習」に「参加したことがない」91.2%

問VI-2 これまでに「自然環境保全活動」や「環境学習」に参加したことがありますか。

(○は1つ)



「自然環境保全活動」や「環境学習」に「参加したことがある」と答えた人は7.2%にとどまり、一方で「参加したことがない」と答えた人は91.2%と高くなっている。

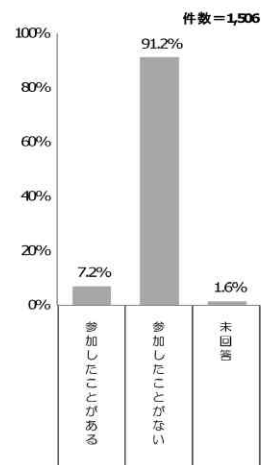
「自然保護活動」や「環境学習」の参加の有無(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「参加したことがある」と答えた人の割合は、男性(7.8%)が高く、女性(6.5%)が低く、1.3ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「参加したことがある」と答えた人の割合は、20代(8.3%)が高く、30代(5.6%)が低く、2.7ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「参加したことがある」と答えた人の割合は、東三河地域(8.7%)が高く、名古屋地域(4.5%)が低く、4.2ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「参加したことがある」と答えた人の割合は、自営業(8.8%)が高く、勤め人(6.8%)が低い。

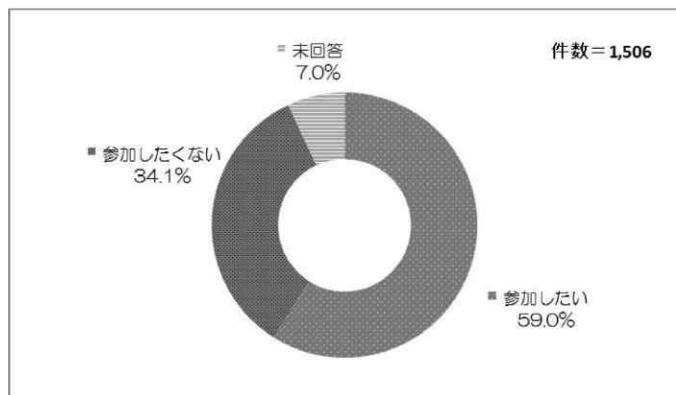


性別	参加したことがある	参加したことがない	未回答
年齢別			
20歳~29歳	8.3%	91.7%	0.0%
30歳~39歳	5.6%	93.8%	0.5%
40歳~49歳	7.4%	91.4%	1.2%
50歳~59歳	7.6%	91.3%	1.0%
60歳~64歳	6.6%	92.0%	1.4%
65歳以上	7.3%	90.8%	1.9%
地域別			
名古屋地域	4.5%	94.3%	1.2%
尾張地域	8.2%	90.6%	1.2%
西三河地域	7.7%	90.7%	1.6%
東三河地域	8.7%	90.7%	0.6%
職業別			
自営業	8.8%	90.1%	1.1%
勤め人	6.8%	92.3%	0.9%
無職	6.9%	91.4%	1.7%

(3) 「自然保護活動」や「環境学習」の参加意識

「自然保護活動」や「環境学習」に「参加したい」が59.0%

問VI-3 あなたの身の回りで「自然環境保全活動」や「環境学習」が実施された場合、参加したいと思いませんか。(○は1つ)



「自然環境保全活動」や「環境学習」に「参加したい」と答えた人の割合は59.0%であり、「参加したくない」と答えた人の割合は34.1%である。

「参加したくない」の理由としては、「忙しい」、「高齢」、「体調不良」、「興味が無い」などがある。

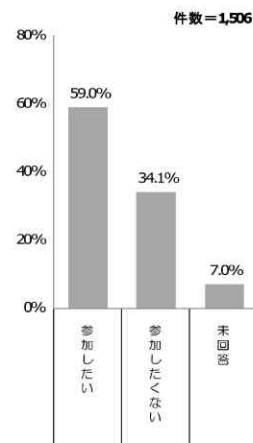
「自然保護活動」や「環境学習」の参加意識(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「参加したい」と答えた人の割合は、男性(61.7%)が高く、女性(56.5%)が低く、5.2ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「参加したい」と答えた人の割合は、60歳~64歳(63.7%)が高く、40代(55.9%)が低く、7.8ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「参加したい」と答えた人の割合は、西三河地域(64.6%)が高く、名古屋地域(55.8%)が低く、8.8ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「参加したい」と答えた人の割合は、勤め人(60.7%)が高く、自営業(56.6%)が低い。



性別	参加したい	参加したくない	未回答
年齢別			
20歳~29歳	61.1%	36.1%	2.8%
30歳~39歳	58.5%	37.4%	4.1%
40歳~49歳	55.9%	39.1%	5.1%
50歳~59歳	60.4%	34.0%	5.6%
60歳~64歳	63.7%	30.2%	6.1%
65歳以上	56.9%	31.9%	11.2%
地域別			
名古屋地域	55.8%	38.7%	5.5%
尾張地域	57.7%	34.3%	7.9%
西三河地域	64.6%	29.9%	5.5%
東三河地域	60.9%	31.7%	7.5%
職業別			
自営業	56.6%	36.8%	6.6%
勤め人	60.7%	34.4%	4.9%
無職	57.9%	33.3%	8.7%